

県立6高校に吹奏楽器を寄贈

伊藤ハムの文化財団

高校生の音楽活動に役立ててもらおうと、公益財団法人伊藤文化財団(神戸市灘区)は兵庫県立6高校に吹奏楽器を寄贈した。県私学会館(同市中央区北長狭通4)で寄贈式があった。

財団は、伊藤ハム(西宮市)の創業者伊藤傳三氏の遺志で設立し、県内の文化芸術活動の普及に取り組んできた。県立高校への寄贈は、新しい楽器を購入する予算が厳しいといった事情を知った同財団が昨年からはじめた。寄贈を受けたのは、今年の



伊藤文化財団による楽器寄贈式＝兵庫県私学会館

県吹奏楽コンクールで金賞・銀賞を授賞した伊川谷北▽加古川南▽農業▽豊岡▽豊岡総合の5校と、地域貢献活動などで実績のあった加古川西。各校の実情に応じ、コントラバスやビブラフォン、ホルンなどの楽器が贈られる。

寄贈式では、同財団の伊藤功一理事長が「演奏は人の思いやりや優しさを育んでくれる。みなさんの演奏で心の豊かさを広げていってほしい」とあいさつ。新たにハープが加わる加古川西の小国美衣さん(17)は「ハープがなくて諦めた曲もあった。演奏の幅が広がるのがとても楽しみ」と話していた。(鈴木雅之)